

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 篠津運河中流地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「各市町村田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

江別市 石狩川と野幌原始林とともに豊かな自然の恵みをもたらし、市民の心のよりどころとしての役割を果たしている。地域の自然環境は豊富である。

当別町 当別町の河川はすべて石狩川水系で、最終的に石狩川に流入し景観豊かな町である。

新篠津村 沼や三日月湖ではヤチウグイやエゾトミヨ、ドジョウといった小さな魚が確認されている。篠津運河や防風林沿いにはスキの草原が縦横に規則的に走っている。春になると沼を目指してコハクチョウやガンが渡ってくる。

【課題】

江別市 自然環境は豊富であり、動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り組むことが課題である。

当別町 地域住民のみならず、周辺地域からの外来者などの滞在とあわせた風土に根ざした個性的な環境づくりが課題となっている。

新篠津村 新篠津村は、まさに自然との調和そのもので成り立っており、将来にわたってこれを守っていくために、自然環境との調和、景観への配慮に重点を置いた施策を推進する必要がある。

《環境保全の基本的考え方》

江別市 緑地や樹林地、水辺等の自然景観や良好な自然環境の保全に努める。

当別町 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修をめざす。

新篠津村 環境配慮と環境創造の視点を明確にし、農業生産の場が即ち環境創造の場でもあるといえるように貴重な環境資源との調和に特に留意する。

2. 環境配慮計画

《基本方針》

本地区は、北海道江別市、当別町及び新篠津村に位置し、一級河川石狩川の右岸に拓けた水田地帯であり、農地、河川、防風林により農村景観が形成されている。

地区内の農業水利施設及びその周辺では、希少な鳥類や魚類等の多くの生物の生息、生育が確認されている。

本事業においては、江別市、当別町及び新篠津村の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

・工事实施前に猛禽類の営巣の確認を行い、営巣が確認された場合は、繁殖への影響が大きい3月から7月の期間は工事を行わない。

・河川に生息する魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施に当たっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

(2) 景観への配慮

・調節水門の鋼構造物には、河畔林や背景の山並みなどの周辺景観との調和に配慮した低彩度の色彩を採用する。